



和宏のほっとかない!! NEWS vol.55

継続こそ力なり



八潮市議会議員 あさだ和宏 (46歳)

無所属・自民クラブ

●1968年 3月28日●八潮市に生まれる(現在46歳)●市立大瀬小(八小)大原中(二中)を卒業●私立成立学園(商業科)を卒業●専修大学 法学部法律学科卒業(40歳を機に大学へ入学。働きながら4年間通学し、2012年卒業)

★01年9月(33歳)1229票12位当選 ★05年9月(37歳)1415票9位当選(2期目)

★09年9月(41歳)1733票3位当選(3期目) ★13年9月(45歳)2164票3位当選(4期目)

【市議会での所属】総務文教常任委員会委員長・議会運営委員会委員

【発行者】 〒340-0821 埼玉県八潮市伊勢野 306 TEL.090-3402-6388(本人直通)

あさだ和宏を育てる会 <http://challenge-kazuhiro.com/> E-mail: asayan@biscuit.ocn.ne.jp

Find us on Facebook

あさだ和宏

検索

トピック 本市の学校給食を考えよう!

6月定例議会中、(6月11日)私が委員長を務める、総務文教常任委員会が開催され、委員会に付託された議案の他に、所管事務調査の一環として、本市の学校給食を全面委託している「東部給食センター」の視察、給食の試食会を実施しました。

委員会メンバー、大山市長、斎藤副市長、石黒教育長他、担当職員と共に、同センターを訪問、まずは給食を調理している調理場等を見学しました。

施設内は、衛生管理が徹底されており、食中毒防止は当然のこと、異物等が混入しないよう様々な対策が講じられていました。

その後、今回の目的の一つでもある「給食」の試食会を行いました。

今回は、当日、中学校で出された給食と同じメニューを試食・・・(給食代270円は自己負担)

さて、試食しての感想は、ご飯やお汁は温かい状態で、美味しく頂きました。

しかし、メインのおかずは、残念ながら、冷めており、もし、これが温かい状態だったら、それぞれの料理の香りや食べるときの食感はかなり違うのではと感じました。

本市の学校給食は、今から36年前(S54年4月小学校、S56年中学校)に、同センターに全面委託してスタートし、現在もその形態が続いています。私も、過去の議会等でも、より美味しい学校給食の実現を目指して、学校給食に関して質問をしましたが、現状のセンターへの全面委託方式では限界があると感じています。

(もちろん、今まで教育委員会と業者間で協議をし、様々な改善も行っています)

私の個人的な意見ですが、そろそろ、本市の学校給食のあり方を、再考する時期ではないかと感じています。

その理由は・・・(次ページにつづく)



(当日試食した給食)

※1食あたり 460円
給食材料費 270円(保護者負担)
給食委託費 190円(市負担)



日帰り親睦バス 旅行のお知らせ

「秋の味覚・ぶどう狩りと、 大人気の『道の駅』でのお買い物ツアー」

(関東好きな道の駅5年連続1位)

- 日 時 平成26年9月7日(日)
- 行 き 先 群馬県沼田市方面・川場田園プラザ
- 参 加 費 大人 6000円(税込) 子供 4000円(税込) (小学生以上)
※昼食代、ぶどう狩り代、バス代が含まれています。
- 募集定員 150名(定員になり次第、締め切りとなりますのでご注意下さい)
※申し込み期限・・・8月23日(土)



ご乗車場所

『伊勢野公民館前』『八潮メセナ前』『八潮駅北口』
のいずれかの場所

申し込み方法

申し込みハガキ、または、電話で申し込み。
電話 090-3402-6388(朝田)

では、埼玉県内の学校給食の状況は・・・

調理方式別による実施状況

調理方式別による完全給食実施状況(公立小学校数)

(平成25年5月1日現在)

調理方式		小学校	中学校	合計
単独調理	学 校 数	362校 (44.6%)	134校 (32.0%)	496校 (40.3%)
	児 童 生 徒 数	195,806人 (51.7%)	67,159人 (36.2%)	262,965人 (46.6%)
共同調理	学 校 数	419校 (51.6%)	268校 (64.0%)	687校 (55.8%)
	児 童 生 徒 数	17,1193人 (45.2%)	111,134人 (59.8%)	282,327人 (50.0%)
全面委託等	学 校 数	31校 (3.8%)	17校 (4.0%)	48校 (3.9%)
	児 童 生 徒 数	11,692人 (3.1%)	7,390人 (4.0%)	19,082人 (3.4%)
合計	学 校 数	812校 (100%)	419校 (100%)	1,231校 (100%)
	児 童 生 徒 数	378,691人 (100%)	18,5683人 (100%)	564,374人 (100%)

八潮市
滑川町等

(埼玉の学校給食 H25年度版より)

上記のように、県内の状況を見ても、本市のような方式(全面委託)の自治体は、本市と滑川町等のみであり、これは全体の「3.9%」という数字です。

もちろん、センター方式や自校方式にも、建設費用や維持費等の課題もあり一概に比較は出来ませんが、より温かい給食を食べさせたい・・・という点を重要視するのであれば、ある程度の費用負担は仕方がないと私は考えます。さらに自校方式等の場合、仮に大きな災害が発生した際には、避難所の調理室としての機能も担うことが可能となり、防災・減災の視点からも有効と考えます。

是非、小学校、中学校等の児童生徒をお持ちの保護者の皆さん、そして児童生徒の皆さんの給食に関する「声」(感想や意見)をお聞かせいただけると幸いです。

(お寄せいただいた内容は、次号等で匿名にてご紹介させて頂く場合もありますのでご容赦下さい。)

メールアドレス asayan@biscuit.ocn.ne.jp

朝田・携帯 090-3402-6388 (番号非通知では繋がりません)



6月定例議会

一般質問

Q

八潮市の適正な学校配置について
現在、市内の適正な学校配置に関して、学校教育審議会が開催されており、間もなく答申が示されます。答申を受けて、今後、教育委員会として、市内の適正な学校配置に関し、今後のスケジュール等、どのように考えているか伺います。

A

本市の南部地区は駅開業に伴う人口増加により、児童生徒数が増加し、今後、教室数の不足が懸念されています。一方、北部地区では、市街化調整区域に指定されていることもあり、八條北小では児童数が減少、すべての学年が1学級という状況になっています。このように本市の児童生徒数は、南部と北部で比較してみると二極化が顕著であり、学校規模に著しい差異が生じています。教育委員会では、最終答申を基に、今後の児童生徒数の見込みや、地域の実情を勘案し、児童生徒の登下校の安全や学校と地域の関わりを考慮しながら通学区域の見直しも視野に入れ、適正な学校配置について、全庁的に具体的方策を検討してまいります。

Q

先の審議会の答申案の中で、北部

地区に関して、「少人数の弊害を解消するためにも、八條中学校、八條小学校、八條北小学校を『統合』し、『早急に』新設の小中一貫教育を設置する必要がある・・・と具体的な表現で提言されているが、このことに関して教育長はどう考えているのか。

A

あくまでも答申案であり事務局としてコメントは控えたい。しかし、現状の八條北小を例にすると、平成20年度、全校児童が167名だったのが今年度は125名と減少、うち3年生は16名(男子5名・女子11名)4年生は17名(男子5名・女子12名)となっており、こういう人数で多様な体験や友人関係等が築けるのか、乏しい状況と感じている。だからといって一体型の学校イコールではないが、今後、どういう教育環境を提供出来るのか、教育委員会の仕事であり、多くの大人たちが考える責務を有していると思う。今後、「子ども第一」で考え、学校関係者、保護者、地域住民の方を含め多くの方と話し合いを進めていく考え。

和宏の考え・意見

今後、最終答申案が提出される予定ですが、私個人的には、早い時期に、北部地区に、新設の小中一貫校(複合施設を含む)を建設する必要があると考えます。勿論、通学路の問題や財政

上の問題等、様々な課題がありますが、その点に関しては、私たち大人が協力、知恵を出し合いながら、次世代の子どもたちに、より良い環境を構築すべきと考えます。

Q 骨髄ドナー助成制度について

埼玉県では、本年度から市町村と共同で、骨髄移植のドナー登録がしやすい社会環境を整備するために、骨髄ドナーへの休業補償制度を創設しました。県内では、昨年10月に滑川町が導入、本年度からは、本庄・入間・美里・神川・上里の5市町が導入しました。本市でも同制度を導入し、ドナー登録がしやすい環境を整備する必要があると考えますが、市の考えを伺います。

A この事業の概要ですが、助成対象者は、ドナー休暇の取得できる者を除き、骨髄・末梢血幹細胞を提供した者として、提供のために要した日数のうち、7日間を上限に、一日2万円で14万円を限度に助成し、このうち県が2分の1を負担するものです。事業の実施について、今後、検討してまいります。

和宏の考え・意見

答弁は、「実施する」との明確な内容ではなかったものの、制度導入に向けて、前向きな答弁だと感じました。平成26年1月に施行された「移植に用い

いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」でも、ドナー登録がしやすい環境を整備すること等、自治体の責務として明記されていますので、本市も早い時期に制度導入を求めました。

Q おおぜ学童の玄関付近の冠水について

おおぜ学童の玄関付近は、近隣道路より低く、まとまった雨が降ると排水が間に合わず、玄関付近が冠水、出入りが困難になる状態が続いています。今年も雨が早いシーズンを迎え、早急に対策を講じる必要があると考えますが、市の考えを伺います。

A 今年の4月4日の大雨により学童保育所の玄関付近が冠水した経緯があり、市では、都市再生機構（UR）側に依頼し、玄関付近が冠水しないように応急措置を行いました。今年度、同学童保育所の玄関付近の段差を解消するため、194万9000円を計上し、現在、工事を実施するための準備作業を行っています。

和宏の考え・意見

確かに、利用者の安全を配慮することは重要ですが、僅か4年足らずで、多額の費用を掛けて、再度、玄関付近を工事することは疑問を感じます。もっと協議を重ねて、道路がかさ上げになっ

た際に、出来るだけ費用を要しない整備はなかったのか・と感じます。仮に、自分の家を作る時に同じようなことをするでしょうか・。

Q 伊勢野わかば公園の整備について

公園利用者と地元自治会から、市に対し、公園内にトイレの設置と、照明灯の設置が寄せられています。この公園は、利用者も多く早急に対応する必要がありますが、市の考えを伺います。

A 当公園から南側、約150メートルの場所に、都市再生機構が施行している区画整理事業により、面積約1,970㎡の街区公園の整備が進められており、その中で水洗トイレも設置されます。照明灯に関して、今年度、1灯を新設する予定です。

Q より理解しやすい公共施設白書の作成について

本市でも今年度、公共施設白書の作成が予定されていますが、イラストや漫画等を用いた白書（概要版）を作成し、より広く市民等に現状や課題等を理解してもらったことも重要と考えますが、市の考えを伺います。

A 公共施設白書（概要版）の作成に当たりましては、市民の皆さんにとっ

てわかりやすい内容となるように努めてまいりたいと考えています。

※（紙面の関係上、質問、答弁の内容を要約、抜粋してあります）

詳しい内容は、八潮市議会HP会議録（8月下旬頃更新予定）をご覧ください。

9月議会の日程（案）

※日程については開会日において議決後正式に決定します。

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1 本議会開会（10時）	2 議案調査	3	4	5	6
7	8 議案調査	9 本会議（総括質疑）	10 委員会（総務文教）	11 委員会（建設水道）	12 委員会（福祉環境）	13
14	15 敬老の日	16 本会議（一般質問）	17 本会議（一般質問）	18 本会議（一般質問）	19 本会議（最終日）	20
21	22	23 秋分の日	24	25	26	27
28	29	30				

※本会議は10時開議・委員会は9時開議となります。

議会を傍聴しませんか

本議会及び委員会は、どなたでも自由に傍聴することが出来ます。（6月議会傍聴者99名）詳しくは議会事務局（0906-4049）まで※議場は市役所3Fにあります。



活動日記



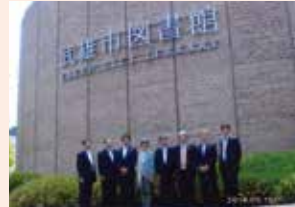
4月24・25日 議会運営委員会



- 新潟県 柏崎市議会・・・議会改革について
- 新潟県 新潟市議会・・・議会基本条例について

今年度も私の提案で、2つの先進議会を視察しました。本市議会も9月から、議会改革に関して、本格的に議論がスタートします。先進事例を参考にし、積極的に提言していきます。

5月14日・15日 総務文教常任委員会



(樋渡市長と)



まさに公立図書館の概念を変えた図書館（年間100万人が訪れます）

- 福岡県春日市・・・教育委員会改革について
- 佐賀県武雄市・・・図書館構想について（武雄図書館）

春日市の教育委員会改革について学びました。今の制度の中で出来る改革、改善があることを再認識しました。武雄市では、「市民の生活を豊かにする図書館」をスローガンに斬新な取り組みをされている構想を、樋渡市長自ら説明をいただきました。

検証大会に参加

5月27日、大宮ソニックシティ（大ホール）にて、上田きよし埼玉県知事「上田県政10年の検証大会」が開催され、約3000人の来場者でした。私も実行委員の一人として参加し、事前の打ち合わせ、当日の準備等、お手伝いさせていただきました。

また、閉会の挨拶をさせていただく機会を上田知事から頂き、緊張しながらも無事にお礼の挨拶をすることが出来ました。



和宏の独り言



皆さん、こんにちは。今回からカラー印刷となった「和宏のほっとかないNEWS」いかがだったでしょうか。まだ至らない部分も多いと思いますが、より分かりやすい内容になるように今後も改善を進めてまいりますので、何かお気づきの点等ありましたら、ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

いよいよ、今年も本格的な「夏」が到来しました。

さて、今年の夏、去年とは違う夏になることを皆さん、ご存知でしょうか・・・。

それは、福島原発の事故発生以来、電力需要が一番多いこの時期に、国内すべての原発が稼働していない夏となります。

その為、夏の電力需要を考慮すれば、より一層の節電を心掛けることが大切ではと私は感じています。

（しかし、何故か、このことに関して政府等は、あまり国民に知らせていません・・・）

原発の再稼働に関して、経済面へのマイナス材料を考慮すると、判断が難しい局面もありますが、私は、原発事故が発生した場合のことを考慮すると、原発への依存を確実に減らしていく必要があると感じています。

国民一人が取り組む節電は小さなものかも知れませんが、一人一人が、日々の生活の中でも身近な工夫や生活スタイルを見直すことによって、大きな効果が生まれると考えます。

私も、自宅等では、エアコンの温度は高めに設定、扇風機等を使用したり、ゴーヤ等のグリーンカーテンを育てて、少しでも暑さを和らげる工夫を実践しています。

さらに、暑さ対策の一環として、自分自身のダイエットも2ヶ月前から始めて、現在、体重が約3キロ減に成功しました（笑）

皆さんも『節電』に心掛けて、今年の「夏」を元気にお過ごし下さい。

和宏